



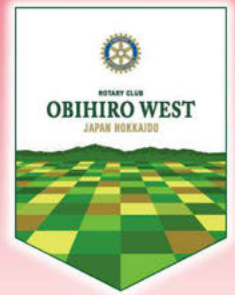
世界に希望を生み出そう

帯広西ロータリークラブ

会報

第2461回例会

2024.1.18



■RI第2500地区スローガン■

今こそ変わる勇気を！
さあ、一步前へ

■クラブ・テーマ■

皆に希望と笑顔と愛を！
ロータリーを楽しみながら活動しよう！

ゲスト紹介



帯広日産自動車(株) 代表取締役社長
藤丸(株) 代表取締役社長兼CEO
村松 一樹 様



帯広日産自動車(株) 理事
吉田 隆浩 様

米山記念奨学生



ファトヒ、アテフェ様

会長報告

柳沢 一元 副会長 会長代理

まずは小谷会員、アメリカ国際協議
会出席ご苦労様でした。

この時期になると私はどうしてもスケートの話をしたくなります。先日全道アイスホッケー大会、清水高校が決勝まで行きました、駒澤に4対2で負けましたけど、清水高校の高橋監督というのはお父さんがもともと三条高校の野球部の監督で三条高校時代も二回ほど甲子園行きました。息子さんもお父さんのあとをついで日体大を卒業しました。清水高校として入って長いんですけども、清水高校としても是非残ってやってくれということで今日から岐阜の方でインターハイ始まっております。この間スピードスケートの方は女子は三条高校が優勝しまして、男子は白樺高校、おそらくインターハイもそういう形にあると思います。二か月ちょっと前に、日曜日の屋敷放映しているみらいモンスターという番組で、三条高校のスケート部、小島楓さんが1年生でインターハイ出場したんですね。後藤監督からは「伸びしろ



が異常にある」1年生で優勝っていうのは、この間日本スケート界の小平選手、藤巻選手、郷選手が引退しましてそのあとが全然育っていないんですね。11月にもワールドカップがありましたが、日本で一番早いと言われている稲川選手でもようやく一桁です。この間引退した3人はみんな独身なんですよ。続いて男子の500メートル開西病院さん、オカモトさん、高堂建設がスポンサーになっておりまして、高堂建設さんは村上選手、オカモトさんは森重選手。オリンピックはどうしても500mしか勝てないんですね。僕たちがやっていたときは500m40秒切るとすごいと言われておりましたが、その時の日本記録は鈴木選手の日本記録38秒5。世界記録は33秒台突入です。今中学生でも35.6秒の時代ですので、これはスラップスケート、科学トレーニングの進歩のたまものです。やっぱり地元誇れるスポーツで言えばスケートだと思います。帯広から約40人オリンピック選手が出ているんです。その8割が白樺なんですよ。いろいろとありますがよろしくお願ひいたします。どうもありがとうございます。

会務報告

立崎 貴之 幹事

①帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例
会開催のご案内

日時 2月14日(水)午後0時 会食
午後0時30分～1時30分 例会

場所 ホテル日航ノースランド帯広

演題 『十勝で求められる国際奉仕とは』
ディスカッション

登壇者 JICA チャム祐子 様
UniteWorks 久保田 様 他

ファシリテーター：NHKアナウンサー
赤松 俊理 様

※尚、帯広東RC、2月13日(火)の繰下げ例会と
致します。

帯広西RC、2月15日(木)の繰上げ例会と致します。
帯広南RC、2月19日(月)の繰上げ例会と致します。



会長 天野 清一 副会長 上野 裕司 会場監督理事 伊藤 公康 発行：広報委員会
幹事 立崎 貴之 副会長 柳沢 一元 プログラム委員理事 近藤 真治 委員長 板倉 利幸 (副) 朴 昌人



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

②帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 2月16日(金)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広西RC、2月22日(木)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、2月23日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、2月26日(月)の例会は、休会と致します。

ニコニコ献金 親睦活動委員会 西 麻衣子 会員
小谷 典之 ガバナーエレクト

1月6日よりフロリダ州オーランドにて国際協議会に出席し、世界から530人のガバナーエレクトとともに勉強してきました。次年度RI会長のテーマはThe Magic of Rotaryです。いよいよガバナー年度始まります。宜しくお願いします。



柳沢 一元 副会長

本日会長代理です。宜しくお願いします。

岡田 英樹 職業奉仕委員長

本日担当例会です。宜しくお願いします。

松田 貴史 財団・米山部会副委員長

年が明けまして、お陰様で弊社松田不動産株式会社は創業60周年となりました。これも一重に皆様のおかげと家族の存在があったからだと思っています。そこで日頃お世話になっているロータリークラブに、財団年次寄付金と米山特別寄付金をゴロ合わせの数字にて振り分けて寄付させていただきました。微力ながら友好に使っていただけると幸いです。ということでニコニコさせていただきます。

西 麻衣子 会員

発表させていただきました。

ニコニコ 献金	1月18日	608,000円
	累計	980,000円 (1月18日現在)

◆プログラム

岡田 英樹 職業奉仕委員長



皆さんこんにちは。職業奉仕委員長の岡田でございます。本日は職業奉仕委員会の第二回目となります。ゲストには帯広日産自動車(株) 代表取締役社長 藤丸(株) 代表取締役社長兼CEO 村松一樹様と帯広日産自動車(株) 理事 吉田 隆浩様にお越しいただきました。本日はお忙しい中ありがとうございます。村松社長は皆さんご存知の通り帯広日産自動車の社長でありますし、帯広ロータリークラブの会長でもあります。百貨店藤丸の再建の取り組みについてお話しいただければと思います。長年親しんだ百貨店藤丸その再建のために私たちができることを模索して、できる限り協力できればと思っております。今回藤丸株式会社の再建スポンサーでもあります。当委員会の副委員長であります米田君から連絡を取っていただきました。それでは村松様よろしくお願いたします。

「百貨店・藤丸の再建に向けて」

帯広日産自動車(株) 代表取締役社長 藤丸(株) 代表取締役社長兼CEO 村松 一樹様



只今ご紹介にあずかりました村松です。今日はスライドに基づいてお話しさせていただきましたと思います。今ご紹介にあった通り、来年会長やらせていただいている、小谷ガバナーの元、帯広ロータリークラブを束ねていきたいなと思います。帯広ロータリークラブ、ロータリーの願いは「はいかイエスカ喜んで」しかないのです。今回受けさせていただいております。しかも米田さんからの依頼でもありましたので、受けさせていただきました。つたない説明ではありますが、30分ほどお付き合いいただけたらと思います。

プロフィール
村松 一樹
1965年5月4日、東京都調布市生まれ。
早稲田大学 商学部卒
1985年 4月 日産自動車株式会社 入社
日産自動車 営業部、営業部長、副社長
2013年 4月 帯広日産社長
2018年10月 村松北地区
2019年 8月 帯広日産 代表取締役社長(CEO)
2022年12月 藤丸株式会社 CEO



私のプロフィールです。私も米田さんも東京の田舎育ちです。都内ではなく郊外の方です。そこではドーナツ現象とかが起きてまして、多摩ニュータウンとかありまして、その端っこで生まれました。10年前にここに帯広日産自動車の代表ということで社命を受けてきたのですが、第一印象ここはとても便利です。家から15分で空港に行けますし、5分で会社いけますし、10分でゴルフ場に行けますし、20分走れば北海道旅行が始まります。そんな素晴らしい十勝帯広に微力ですけど貢献したいなという気持ちでございます。

原点 | 甲子園
1980年
第62回全国高等学校野球選手権大会



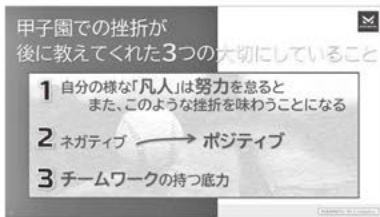

余興でいつもやるのですが、私は18歳、高校3年生の時に甲子園に出場しております。都立国立高校、都立で初めて甲子園に出ました。文武両道と書いてありますが、私以外素晴らしく勉強ができて野球が上手くてというところ。あそこに写真があります。東京の決勝の翌日の日刊スポーツ提供の写真です。真ん中の帽子をかぶっているのがエースの市川武史です。隣に微笑んでいるのが私です。市川武史がエースで点を取られないで、私たちが少し点数とれば勝てるという進み方だったので、市川武史の隣にいれば写真

が撮れるということで、ずっとくっついていたら写真が撮れるということの写真です。これを基に結構ファンレター頂きました。



甲子園では初日の1回戦で前年度優勝校箕島高校と当たりまして、くじを引いた途端、テレビ局が取材に来てショートの岩村太郎が「甲子園は本当にいいところなのでもう少し長くいたかったです。」試合始まる前にそういうこと言っていて東京の高野連から相当クレームが入りました。そんな前年度優勝校の箕島高校と戦ったわけです。ここから2分ちょっとぐらい1回表の映像をご覧くださいと思います。

結果的には5回にホームランを打たれて負けたのですが、もっと大差をつけて負けると思われていたのですが、接戦にもつれました。この甲子園の経験が私の原点でございまして、実は文武両道と申し上げましたけど、同級生10人のうち4人が東京大学に行っております。ピッチャー、キャッチャー、ショートの、センター。市川武史は東大でもエースで7勝しております。1勝できたらすごいと言われるところを7勝しました。社会に出てみんな活躍しており今でも第一戦で頑張っております。素晴らしい仲間にも恵まれて、私は甲子園に連れて行っていただきました。



甲子園が挫折なんですね。私実は1年からレギュラーでした。チームメイトと比べて努力を怠っていたんでしょう。伸びがなくて、甲子園でレギュラー番号を背負っていたんですが、一度も試合に出ておりません。夢舞台上で大きな挫折を味わいました。私のような凡人はつらい甲子園の辛い経験がめぐるくと、本当に努力を怠ったらいけないなと思いました。2番目にネガティブからポジティブと書いてありますが、それまでは非常にネガティブでエラーをしたらどうしようと、努力もしていないので球が飛んでくるなど、ピンチになると逃げたくなるような気持ちで守備についてました。

あとから仲間にも聞くと、俺のところへ飛んで来いと、俺がさばいてやるという気持ちで試合に臨んでいた。やっぱり、努力に根差したポジティブでなければいけないなと思いました。また、素晴らしい仲間とチームワークの力、底力として持っておくべきだなと思いました。そんなことがその後の社会人生活に繋がっているのかなと思っております。18歳の時の大きな挫折が私の二度と同じ思いをしたくない気持ちで毎日をご過ごしております。



2013年に帯広日産自動車に就任。釧路日産はそのうち破たんしたのですが、それを統合しました。同じような会社が全国に30社あったのですが成績としては30社中30位ということで再建をとということでここに来ました。再建したんですが、従業員は本当によく頑張っていたので、みんなの働く環境とかやりがいを持って働ける、それをすればみんな結果を残してくれるんじゃないかなと労働環境の改善とかやりがいのある職場作りをやっていったら、みんな応えてくれてその結果4年で30位だったのが1位になりました。

みんなに頑張ってもらいました。そして素晴らしい家族と過ごして、家族がここに永住したいと従業員もよく頑張ってくれたので、この従業員と一緒にずっと頑張っていきたいなと思いました。マネジメントパイアウト、100%子会社だった日産自動車だった株式の譲渡を受けてオーナーになりました。オーナーになったことによって永住するということになりました。これでオーナーになりましたので思ったのが地域貢献したいという気持ちが芽生えてきました。



地域貢献するという事で、帯広ロータリークラブの会長、商工会議所に務めたりいろいろやるという姿勢をしました。その一環として藤丸の応援団、ユーザーとして藤丸によく行ってました。藤本社長に言って、日産のブースをつくるという相談をしたら「是非」という返答を受け、すぐスペースを空けていただいて、1階に日産自動車のショールームをつくらせていただきました。その後、残念ながら122年の歴史に幕を閉じたということです。



私は釧路も一緒に仕事しているので、釧路、根室、中標津までよく行くのですが、これは釧路の百貨店が閉店になった後廃墟になった写真です。大きな建物が廃墟になりますと、街が蝕まれますので、とにかくこれを避けたいいけないのではないかなと思ってました。そこで米田さんの登場です。

米田さんが藤丸を私的整理に持ち込んでそのあと新たに展開する、藤丸株式会社を立ち上げる。それについては、是非村松さんに代表についてほしいと。会ったの二回目だったんですね。同郷であったり、地域貢献すると言ってますよね。だけど俺車屋だし。大丈夫です。我々が作戦全部練りますし、資金繰りも何とかするのと言われて、質問すると彼はなんでもきれいに答えてくれます。そうすると質問がなくなってしまっ、受けないといけなくなってしまいう状態になりました。最後の望みは幹部だと思、**「藤丸の代表を頼まれているんだけどどう思う？」**と幹部を集めて話をしたら**「是非受けてくれ」と「どうして受けてほしいと思う？」**と聞いたら、「藤丸の件は悲しくて残念なニュース



でした。それを社長が再建してくれるということは誇りに思う」ということで是非受けてくれということで受けるしかないなということで受けました。受けてから1年ちょっと経つのですが、今思うと受けてよかったなと思います。もう還暦迎えているのですが、こんなわくわくする時間が米田さんたち38歳の若者と取り組める時間を頂いたと思うと本当にうれしく思っております。最初逃げ腰だったのですが、さっき言ったポジティブじゃないといけないなと思ったり、受けてよかったなと本当に思っております。いまやって

まして、想像の通り火中の栗を拾ったと皆さんから言われるのですが、本当に難事業でありまして、私的整理は米田さんの力で整っております。あとはどういう風に立ち上げるかでございます。建築費の高騰でしたり、いろんなものが押し寄せてきてます。これをなんとか米田さんと切り開いていきたいというのが我々の現在地です。



再建に向けて何もやらないわけではなくて、12月藤丸のお歳暮を再開しました。ヤマト運輸さんの協力を得て、ヤマト運輸の窓口で帯広日産自動車の窓口で展開したのですが、1500売ればいいかなと思っていたのですが、2000近く売れて、皆さんの応援を肌で感じるお歳暮でございました。これは記者会見の様子です。映像は時間があったらあとで見ましょう。



藤丸無料開放リサイクルデー、備品がかなり残っておりまして、産業廃棄物に持っていくと2500万という見積りが出て、まだ売り上げは出してないし、どうしようかなと思った時に、藤丸の備品を皆さんに持って帰ってもらって、思い出のおすそ分けをしようということで、企画したらものすごい多くの方で行列ができて集まっていただきました。思い出をおすそ分けできてよかったなと思います。



市街地の活性化に向けて、藤丸もやりますし商工会議所の商業委員委員長もやっておりますので、広小路の可能性を探るということで、広小路のマーケットを6月と9月にやりました。2000人くらい来たら成功かなと思っていたら8000人を超える市民の皆様が集まっていただいて、藤丸もそうですし、広小路の活性化に向けて可能性があるんじゃないかなと少なからず立証できたのかなと思います。

ここでお歳暮の映像を見てみましょう。新しい藤丸どうなるかということなのですが、プランはたくさんあります。しかし先ほど申し上げた建築費の高騰で事業計画とリンクさせないといけないうので、資金繰り等収益を確保してイニシャルコストが相当上がっているところを受けて、今どの選択肢を取るかということを選択しているところでございます。本当は今こういう屋形になります、こういうことをやっていきますなどお伝えしたかったのですが、今じっくり再構築しているところでございます。今1年を迎えますので、1年を迎える周辺ちょっとにどういう風にしますとか世の中にお伝えする場を設けたいなと思います。

良運と書いてあります。人生を振り返ると良運だったなと思います。運って自分で考えるに人との出会いかなと思います。それをどう活かすかで変わるのかなと思っております。甲子園でチームメイトと出会ったのが大きな出会いで、彼らに連れて行っていただいた。

1年の時からずっとレギュラーだったのですが、ずっと負けておりました、3年になって甲子園に行っております。そういう素晴らしいメンバーに巡り合えました。そこで挫折を受けたのですがふりかえると、良い感じに上手くいかせたのかなと思います。米田さんに会ったのも運でございまして、その運を活かしていきたいなと思います。今日はお声かけ頂きありがとうございます。ここにも自動車業界の方がたくさんいらっしゃいます鈴木社長、若林さん、石原さん、素晴らしい先輩がたくさんいらっしゃって、多少ホームグラウンドだと思って話しました。廃墟にしたらいけない。廃墟にしたら本当にこの素晴らしい帯広十勝が蝕まれていく。とにかくそれは避けたい。私的整理が終わって、次は廃墟になるのを避けて、どう事業展開していくか、三段跳びでやっていきます。お呼びいただきありがとうございます。ご清聴ありがとうございます。

